

## 平成26年度 理学療法学ユニット研究活動状況

### A. 平成26年度 理学療法学ユニットの構成メンバー

鈴木 俊明、谷 埜 予士次、米田 浩久、吉田 隆紀、  
谷 万喜子、鬼形 周恵子、文野 住文

### B. 研究活動概要

今年度の研究テーマは、下記のようなものである。

- 1) 理学療法評価および治療法に関する神経生理学的・生体力学的研究
- 2) 理学療法と鍼灸医学の考えを組み合わせた新しい治療法の開発と、その効果に関する神経生理学的研究
- 3) 運動学習、運動イメージに関する神経生理学的研究
- 4) 神経疾患に対する鍼治療効果に関する基礎および臨床研究

### C. 研究業績

(主に、平成26年度著書、論文等、学会報告、講演会など)

#### 原 著

- 1) 吉田隆紀、谷埜予士次、増田研一、鈴木俊明：捻挫後の機能的不安定性に対する経皮的電気刺激を加えたトレーニングの効果 - 片脚立位時の重心動揺計と筋電図を用いた検討 -, 臨床スポーツ医学, 31, 385-389, 2014
- 2) 吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之：スモンの運動機能の経年変化 - 2症例での検討 -, 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)スモンに関する調査研究班平成25年度 総括・分担研究報告書, 179-181, 2014
- 3) 鈴木俊明：理学療法と鍼灸の融合とは何か - 「経穴刺激理学療法」と評価の重要性, Sportsmed, 161, 2-4, 2014
- 4) 鈴木俊明、谷 万喜子、田中健一、高橋 護、生田啓記：理学療法と鍼灸に関する研究から - 鍼刺激と筋機能、経穴刺激と運動 -, Sportsmed, 161, 5-15, 2014
- 5) 吉田隆紀、谷埜予士次、鈴木俊明：足関節捻挫後の機能的不安定性に対する電気療法の効果 - 不安定板上の運動時に電気療法を付加するトレーニング法の検討 -, 理療科, 29, 417-420, 2014
- 6) 池田幸司、大沼俊博、渡邊裕文、藤本将志、赤松圭介、鈴木俊明：端座位での側方体重移動時における移動側中殿筋・大腿筋膜張筋・大殿筋上部線維の筋電図積分値, 理療科, 29, 421-424, 2014
- 7) 吉岡芳泰、谷埜予士次、鈴木俊明：膝伸展課題直後のハムストリングスの筋活動と膝屈曲トルク, 理療科, 29, 555-559, 2014
- 8) 渡邊裕文、大沼俊博、高崎恭輔、谷埜予士次、鈴木俊明：座位での側方への体重移動における腹斜筋群の筋活動の特徴, 理療科, 29, 561-564, 2014
- 9) 由留木裕子、鈴木俊明、文野住文、岩月宏泰：アロマセラピーが上肢での脊髄神経機能の興奮性に与える影響について, 臨床神経生理学, 42, 87-99, 2014
- 10) 高橋優基、藤原 聡、伊藤正憲、嘉戸直樹、鈴木俊明：意識的には認識できない小さなリズムの変化が予測に基づく反応時間に及ぼす影響 - 基本間隔を延長したパターンによる検討 -, 理学療法学, 41, 306-311, 2014
- 11) 大沼俊博、渡邊裕文、藤本将志、赤松圭介、谷埜予士次、鈴木俊明：立位での踵部および前足部荷重における腹斜筋群、多裂筋の筋活動について, ボーナスジャーナル, 37, 2-5, 2014
- 12) 米田浩久、鈴木俊明：全習法と異なる二種の分習法での運動学習効果の検討 - 単位時間軌跡長による検討 -, 理療科, 29, 809-813, 2014
- 13) 大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：立位時の体重側方移動が腰背筋の筋機能に与える影響 - 組織硬度計を用いた検討 -, 生体応用計測, 5, 63-67, 2014
- 14) 鈴木俊明、文野住文、鬼形周恵子、谷 万喜子、米田浩久：筋緊張異常に対するアプローチ, 関西理学, 14, 27-31, 2014

- 15) 橋谷裕太郎、早田 莊、赤松圭介、藤本将志、大沼俊博、鈴木俊明 他：立位での膝関節屈曲位保持課題が膝蓋骨の前額面上回旋角度変化に及ぼす影響、関西理学, 14, 37-41, 2014
- 16) 國枝秀樹、末廣健児、大沼俊博、渡邊裕文、石濱崇史、鈴木俊明：立位での前足部荷重における多裂筋・最長筋・腸筋の筋活動について、関西理学, 14, 43-47, 2014
- 17) 高橋優基、藤原 聡、伊藤正憲、嘉戸直樹、鈴木俊明：聴覚刺激のリズムの変化率の違いがリズムカルな反応運動に及ぼす影響、関西理学, 14, 49-58, 2014
- 18) 辻 智美、石橋佑実、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明 他：歩行の右立脚中期から後期に骨盤の過度な右側方移動が生じることで歩行動作の安全性・安定性低下を認めた小脳梗塞後患者の理学療法、関西理学, 14, 59-65, 2014
- 19) 小松菜生子、橋谷裕太郎、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明 他：立ち上がり動作時に左麻痺側後方への転倒の危険性を認めた右被殻出血後左片麻痺患者の理学療法、関西理学, 14, 67-76, 2014
- 20) 刀坂 太、早田 莊、赤松圭介、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：立ち上がり動作時に右後方への転倒傾向を認めた第6頸髄不全損傷四肢麻痺患者の理学療法、関西理学, 14, 83-89, 2014
- 21) 水口真希、高森絵斗、早田 莊、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明 他：第2腰椎圧迫骨折および腸閉塞外科術後に起き上がり動作が困難となった症例の理学療法、関西理学, 14, 91-101, 2014
- 22) 松井滉平、網本怜子、刀坂 太、文野住文、鈴木俊明：ホールドリラックスを利用したリラクスイメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響 —F波を用いた研究—、理療科, 29, 979-982, 2014
- 23) 渡邊裕文、大沼俊博、池田幸司、末廣健児、石濱崇史、鈴木俊明 他：座位での側方リーチ動作における圧中心 (COP) の変位と内腹斜筋の筋活動について、ボバースジャーナル, 37, 124-128, 2014
- 24) 前田剛伸、嘉戸直樹、鈴木俊明：複雑性の異なる手指対立運動の運動イメージが上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響、臨床神経生理学, 43, 10-13, 2015
- 25) 鈴木俊明：痙縮の病態生理と電気生理学的評価、MB Med Reha, 180, 23-28, 2015
- 26) 谷埜予士次：誘発筋電図M派からみた内側広筋斜頭と長頭の機能的差異に関する考察、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌
- 27) Suzuki T, Bunno Y, Onigata C, Tani M, Uragami S: Excitability of Spinal Neural Function by Motor Imagery with Isometric Opponens Pollicis Activity, Influence of Vision during Motor Imagery, NeuroRehabilitation, 34, 725-729, 2014
- 28) Tanino Y, Suzuki T: Spinal Reflex Arc Excitability Corresponding to the Vastus Medialis Obliquus and Vastus Medialis Longus Muscle, J, Phys, Ther, Sci, 26, 101-104, 2014
- 29) Suzuki T, Bunno Y, Onigata C, Tani M, Yoneda H, Yoshida T, et al: Excitability of Spinal Neurons during Relaxation Imagery for 2 Minutes, Int J Neurorehabilitation Eng, 1, 105, 2014
- 30) Suzuki T, Bunno Y, Onigata C, Tani M, Uragami S, Yoshida S: Excitability of spinal neural function during motor imagery in Parkinson's disease Functional Neurology 29, 1-5, 2014
- 31) Bunno Y, Yurugi Y, Onigata C, Suzuki T, Iwatsuki H: Influence of Motor Imagery of Isometric Opponens Pollicis Activity on the Excitability of Spinal Motor Neurons: a Comparison using Different Muscle Contraction Strengths. J, Phys, Ther, Sci, 26, 1069-1073, 2014.

#### 学会発表

- 1) 吉田隆紀、石元優々、中尾慎一、川上 守：腰椎疾患に対する脳由来神経栄養因子と多面的評価の関連

- 性について, 第122回中部日本整形外科災害外科学会学術集会, 岡山, 2014.4
- 2) 後藤勇太、高橋 護、酒井英謙、高木綾一、谷 万喜子、鈴木俊明: ヒラメ筋筋腹への集毛鍼刺激がヒラメ筋のH波に与える影響 - 集毛鍼刺激頻度2Hzでの検討, 第63回(公社)全日本鍼灸学会学術大会, 愛媛, 2014.5
- 3) 田中健一、谷 万喜子、酒井英謙、高木綾一、吉田宗平、鈴木俊明: ハンガー反射を応用した頭部への円皮鍼・銀粒刺激の検討 - 健常者の頸部姿勢に与える影響 -, 第63回(公社)全日本鍼灸学会学術大会, 愛媛, 2014.5
- 4) 牧野一永、田中健一、生田啓記、谷 万喜子、鈴木俊明、吉田宗平: 頸部後屈を呈する頸部ジストニア患者に対する鍼治療 - 運動ニューロパチーを合併した一症例 -, 第63回(公社)全日本鍼灸学会学術大会, 愛媛, 2014.5
- 5) 山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明: 運動頻度の増加が体性感覚入力に及ぼす影響 - 体性感覚誘発電位を用いた検討 -, 第49回日本理学療法学術大会, 神奈川, 2014.5
- 6) 前田剛伸、嘉戸直樹、鈴木俊明: 手指対立運動の運動イメージが上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響 - イメージ明瞭性の評価を用いた検討 -, 第49回日本理学療法学術大会, 神奈川, 2014.5
- 7) 嘉戸直樹、伊藤正憲、藤原 聡、野村 真、鈴木俊明: 一側上肢の精緻な運動の学習が対側上肢脊髄神経機能への促通効果に及ぼす影響, 第49回日本理学療法学術大会, 神奈川, 2014.5
- 8) 高橋優基、藤原 聡、伊藤正憲、嘉戸直樹、鈴木俊明: 聴覚刺激の刺激感覚の変化がリズムの予測に基づく反応運動に及ぼす影響 - 筋電図反応時間による検討 -, 第49回日本理学療法学術大会, 神奈川, 2014.5
- 9) 伊藤正憲、嘉戸直樹、鈴木俊明: リズム刺激とタッピングの同期が運動リズムに及ぼす影響 1秒間隔の運動による検討, 第49回日本理学療法学術大会, 神奈川, 2014.5
- 10) 野瀬晃志、山本将輝、伊藤紀代香、坂本考優、谷埜予士次、鈴木俊明 他: 足底への冷却および触圧覚刺激が歩行における立脚期のpre-activationに及ぼす影響, 第49回日本理学療法学術大会, 神奈川, 2014.5
- 11) 米田浩久、鈴木俊明: トレーニング設定のための同一運動課題に対する異なる分習法による運動学習効果を基にした検討 - 運動構成要素の学習順序変更による比較 -, 第49回日本理学療法学術大会, 神奈川, 2014.5
- 12) 池澤秀起、高木綾一、鈴木俊明: 腹臥位での下肢空間保持課題が反対側の僧帽筋下部線維の筋活動に与える影響 - 肩関節外転角度に着目して -, 第49回日本理学療法学術大会, 神奈川, 2014.5
- 13) 高木綾一、畠 淳吾、鈴木俊明: セラピストの人事考課成績に影響を与える要因に関する研究, 第49回日本理学療法学術大会, 神奈川, 2014.5
- 14) 伊藤 陸、貝尻 望、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明: 立位でのステップ股位保持における支持側大殿筋上部線維、中殿筋、大腿筋膜張筋の筋電図積分値について - 支持側股関節外旋角度の変化による検討 -, 第49回日本理学療法学術大会, 神奈川, 2014.5
- 15) 吉田隆紀、谷埜予士次、鈴木俊明: 足関節捻挫後の機能的不安定性に対する経皮的電気刺激を加えたトレーニングの効果について - 片脚立位の重心動揺計と筋電図を用いた検討 -, 第49回日本理学療法学術大会, 神奈川, 2014.5
- 16) 渡邊裕文、大沼俊博、藤本将志、池田幸司、末廣健児、鈴木俊明 他: 座位での側方リーチ動作における圧中心(COP)の変化と内腹斜筋の筋活動について - リーチ速度の違いによる検討 -, 第49回日本理学療法学術大会, 神奈川, 2014.5
- 17) 鈴木俊明: 脳血管障害片麻痺患者の痙縮のリハビリテーション評価としてのF波、H波の応用, 第51回日本リハビリテーション医学会学術集会, 愛知,

- 2014.6
- 18) 西村 健、矢島優磨、玉置昌孝、井上隆文、中道哲朗、鈴木俊明 他：端座位における座面の深さ変化が立ち上がり動作時の運動パターンと体幹・下肢筋の筋活動パターンに及ぼす影響，第26回大阪府理学療法学会大会，大阪，2014.7
- 19) 岩淵順也、清水貴史、玉置昌孝、井上隆文、中道哲朗、鈴木俊明：健常者における足関節背屈時の足関節後面の皮膚伸張性についての検討，第26回大阪府理学療法学会大会，大阪，2014.7
- 20) 玉置昌孝、井上隆文、中道哲朗、藤本将志、鈴木俊明：しゃがみ込み動作における下肢筋の筋活動パターンの検討 ～ハムストリングスに着目して～，第26回大阪府理学療法学会大会，大阪，2014.7
- 21) 野口翔平、玉置昌孝、井上隆文、中道哲朗、藤本将志、鈴木俊明：立位での一側下肢への側方体重移動が多裂筋・腸筋・最長筋の筋活動パターンに与える影響について，第26回大阪府理学療法学会大会，大阪，2014.7
- 22) 網本怜子、高木綾一、鈴木俊明：降段動作にて左立脚期に左足関節前面に疼痛が生じた左脛骨高原骨折の一症例，第26回大阪府理学療法学会大会，大阪，2014.7
- 23) 本荘智也、井尻朋人、高木綾一、鈴木俊明：健常者のリーチ方向の違いによる実測値と予測値の変化，第26回大阪府理学療法学会大会，大阪，2014.7
- 24) 下沖泰裕、光田尚代、高木綾一、鈴木俊明：左後方リーチ動作時の足圧中心の変化と下肢・体幹の筋活動について ～左膝人工関節置換術後の症例を通して～，第26回大阪府理学療法学会大会，大阪，2014.7
- 25) 辻田依世、光田尚代、高木綾一、鈴木俊明：股関節と膝関節の関係性に着目し左側方への不安定性が改善した左大腿骨転子部骨折の一症例，第26回大阪府理学療法学会大会，大阪，2014.7
- 26) 矢野 悟、高木綾一、鈴木俊明：協調運動障害に対し膝立ちでのアプローチにより歩行時の転倒傾向が改善した心原性多発脳梗塞の一症例，第26回大阪府理学療法学会大会，大阪，2014.7
- 27) 大沼俊博、渡邊裕文、藤本将志、赤松圭介、鈴木俊明：背臥位と直立位の肢位変化が上前腸骨棘間長に及ぼす影響，第4回日本ボバース研究会学会大会，大阪，2014.7
- 28) 谷埜予士次、鈴木俊明：誘発筋電図M波からみた内側広筋斜頭と長頭の機能的差異に関する考察，第6回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会，広島，2014.7
- 29) 鈴木俊明：パーキンソン病の体幹前屈偏倚には最長筋の筋活動の変化が関与する，第8回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres，京都，2014.10
- 30) 鈴木俊明、文野住文、鬼形周恵子、谷 万喜子、浦上さゆり、吉田宗平：脳血管障害片麻痺患者への1分間のリラクスイメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響 ―廃用手における検討―，第54回近畿理学療法学会大会，大阪，2014.11
- 31) 西村 健、玉置昌孝、鈴木俊明 他：端座位における座面の深さ変化が立ち上がり動作時の下肢筋活動パターンと足底圧中心位置に及ぼす影響，第54回近畿理学療法学会大会，大阪，2014.11
- 32) 熊川圭一、阿萬大地、清水啓介、中道哲朗、鈴木俊明：座位での体幹前傾角度変化が股関節伸展筋の筋電図積分値相対値に及ぼす影響，第54回近畿理学療法学会大会，大阪，2014.11
- 33) 岡林 良、井尻朋人、高木綾一、鈴木俊明：床へのリーチ動作における関節角度と筋電図解析，第54回近畿理学療法学会大会，大阪，2014.11
- 34) 田中智也、高木綾一、鈴木俊明：脳卒中片麻痺患者一症例における着座動作の分析 ―足底中心に着目して―，第54回近畿理学療法学会大会，大阪，2014.11
- 35) 東藤真理奈、文野住文、米田浩久、鈴木俊明：運動イメージの具体的方法の個人差に関する一考察，第

- 54回近畿理学療法学会大会, 大阪, 2014.11
- 36) 楠 貴光、早田 莊、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：肩関節水平屈曲角度変化が大胸筋の筋電図積分値相対値に及ぼす影響, 第54回近畿理学療法学会大会, 大阪, 2014.11
- 37) 大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：背臥位と直立位の肢位変化が内腹斜筋横方向線維の硬度に与える影響 —組織硬度計を用いた検討—, 第54回近畿理学療法学会大会, 大阪, 2014.11
- 38) 林田修司、高木綾一、鈴木俊明：健常人における膝折れ機序の分析 —筋活動パターンに着目して—, 第54回近畿理学療法学会大会, 大阪, 2014.11
- 39) 辻本麻帆、相坂美帆、大村 心、小川伊作、吉田隆紀、鈴木俊明 他：足関節捻挫後の機能的不安定性に対するキネシオテーピングの効果 —片脚立位とドロップジャンプ着地時の安定性による検討—, 第54回近畿理学療法学会大会, 大阪, 2014.11
- 40) 今井庸介、高木綾一、鈴木俊明：介護老人保健施設における在宅復帰に影響を与える因子について —在宅復帰者と非在宅復帰者の比較検討—, 第54回近畿理学療法学会大会, 大阪, 2014.11
- 41) 高崎浩壽、末廣健児、鈴木俊明：運動観察による視覚刺激が脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響について —F波を用いた視覚の効果についての検討—, 第54回近畿理学療法学会大会, 大阪, 2014.11
- 42) 野村 真、嘉戸直樹、伊藤正憲、藤原 聡、鈴木俊明：一側上肢の精緻な運動の学習は対側上肢脊髄神経機能への促通効果を減弱させる, 第54回近畿理学療法学会大会, 大阪, 2014.11
- 43) 山本将揮、清水貴史、澤田拓馬、北野冬馬、吉田隆紀、鈴木俊明 他：わき腹痛を有したアンダースロー投法投手における投球動作解析 —三次元動作解析機を用いた検討—, 第54回近畿理学療法学会大会, 大阪, 2014.11
- 44) 吉田隆紀、増田研一、鈴木俊明：前腕筋群の疲労に対する末梢神経電気療法の効果 —グリッパ動作課題における握力と筋電図筋積分値を用いた検討—, 第25回日本臨床スポーツ医学会学会集會, 東京, 2014.11
- 45) 早田 莊、楠 貴光、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：一側肩関節屈曲位保持課題における屈曲角度変化が両側最長筋、多裂筋、腸筋の筋電図積分値に及ぼす影響, 第1回日本基礎理学療法学会学会集會・日本基礎理学療法学会第4回学会大会合同学会, 愛知, 2014.11
- 46) 山本将揮、岩淵順也、玉置昌孝、中道哲朗、鈴木俊明：健常者の後方ステップ動作における遊脚側下肢接地後の股関節周囲筋の筋活動パターンについて, 第1回日本基礎理学療法学会学会集會・日本基礎理学療法学会第4回学会大会合同学会, 愛知, 2014.11
- 47) 佐々木元勝、玉置昌孝、中道哲朗、鈴木俊明：座位における足関節底屈運動時の足関節周囲筋の筋活動パターンについて, 第1回日本基礎理学療法学会学会集會・日本基礎理学療法学会第4回学会大会合同学会, 愛知, 2014.11
- 48) 野口翔平、玉置昌孝、中道哲朗、鈴木俊明：立位での一側下肢への側方体重移動の速度変化が多裂筋、腸筋、最長筋の筋活動パターンに与える影響について, 第1回日本基礎理学療法学会学会集會・日本基礎理学療法学会第4回学会大会合同学会, 愛知, 2014.11
- 49) 福本悠樹、武 風沙、淵本 恵、文野住文、鈴木俊明：運動の巧みさは運動イメージに影響されるのか —健常者による検討—, 第1回日本基礎理学療法学会学会集會・日本基礎理学療法学会第4回学会大会合同学会, 愛知, 2014.11
- 50) 白井孝尚、上野喜常、森川智貴、福本悠樹、文野住文、鈴木俊明 他：尺沢穴への触覚、触圧覚、痛覚刺激の違いが母指球筋F波に与える影響 —健常者による検討—, 第1回日本基礎理学療法学会学会集會・日本基礎理学療法学会第4回学会大会合同学会, 愛知, 2014.11
- 51) 東藤真理奈、文野住文、鈴木俊明：運動イメージの手続き方法が脊髄神経機能の興奮性に与える影響, 第1回日本基礎理学療法学会学会集會・日本基礎理

- 学療法学会第4回学術大会合同学会，愛知，2014.11
- 52) 水口真希、高森絵斗、渡邊裕文、鈴木俊明：経穴刺激理学療法抑制手技における尺沢穴への刺激の相違が母指球筋F波に与える影響 —脳血管障害片麻痺患者による検討—，第1回日本基礎理学療法学会学術集会・日本基礎理学療法学会第4回学術大会合同学会，愛知，2014.11
- 53) 今奈良 有、文野住文、鈴木俊明：等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性と運動の巧みさに与える影響 —30%収縮強度における検討—，第1回日本基礎理学療法学会学術集会・日本基礎理学療法学会第4回学術大会合同学会，愛知，2014.11
- 54) 山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明：脳卒中患者における非麻痺側手指の随意運動が非麻痺側の感覚機能に及ぼす影響，第44回日本臨床神経生理学会学術大会，福岡，2014.11
- 55) 鈴木俊明、文野住文、鬼形周恵子、谷 万喜子、谷 埜予士次、吉田宗平 他：脳血管障害片麻痺患者の麻痺側上肢F波はH波である可能性がある，第44回日本臨床神経生理学会学術大会，福岡，2014.11
- 56) 高橋 護、谷 万喜子、鈴木俊明：築賓穴への2分間の接触刺激がヒラメ筋のH波に与える影響，（公社）全日本鍼灸学会 第34回近畿支部学術集会，大阪，2014.11
- 57) 平瀬尚貴、井上達哉、由井和久、柳原世紀、佐々木英文、鈴木俊明：母趾屈曲運動の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響 —視覚と運動イメージの関連性について—，第23回日本柔道整復接骨医学会学術大会，東京，2014.11
- 58) 西 僚太、山野昌夫、大熊菜央子、溝端直人、佐々木英文、鈴木俊明：母趾屈曲運動の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響 —開眼と閉眼時の運動イメージの関連性について—，第23回日本柔道整復接骨医学会学術大会，東京，2014.11
- 59) 佐々木英文、浦辺幸夫、鈴木俊明：母趾屈曲運動の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響 —運動課題の違いによる検討—，第23回日本柔道整復接骨医学会学術大会，東京，2014.11
- 60) 吉田隆紀、石元優々、川上 守：腰椎疾患の脳由来神経栄養因子について，第22回日本腰痛学会，神奈川，2014.11
- 61) 吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之：両側中殿筋の筋緊張低下を認めたスモン患者1症例—片脚立位動作と歩行様式の関連性—，平成26年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）「スモンに関する調査研究班」研究報告会，東京，2015.1
- 62) 鈴木俊明：脳血管障害片麻痺患者へのリラックスメージの時間変化は脊髄神経機能の興奮性を変化させるか？ —リラックス効果が異なった2症例での検討—，第6回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会，秋田，2015.2

#### 国際学会

- 1) Suzuki T, Bunno Y, Onigata C, Tani M, Urugami S: Effects of 1-and 2-min periods of relaxation imagery on spinal neuronal excitability, 8th World Congress for NeuroRehabilitation, Istanbul-Turkey, 2014.4
- 2) Suzuki T, Bunno Y, Tani M, Onigata C, Wakayama I, Yoshida S, et al: F-wave waveform values increased following improved voluntary movements in a patient with cerebrovascular disease, The 4th Japan-Korea NeuroRehabilitation Conference, Akita, 2015.2

#### シンポジスト

- 1) 鈴木俊明：運動イメージにおける脊髄神経機能，第1回日本基礎理学療法学会学術集会・日本基礎理学療法学会第4回学術大会合同学会，愛知，2014.11